



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりよくする



加古川市立西神吉小学校

学校通信

No.32

～ 作文紹介 ～

先日、5年生が調理実習でお茶をいれたこと、そして3年生が綿名人のことを作文したので紹介します。

◆5年『調理実習』



・わたしは、初めて調理実習をして思ったことがありました。「お茶いれるぐらいかんたん」と思っていたんですが、あつかったり、湯をこぼしそうになったりしました。そして、初めてみんなできょうりよくするのって「楽しい」って思いました。また調理実習があるとき、みんなで楽しくやりたいです。

・私は、ゴールデンウィーク前におつかれさま会をしました。私は初めての調理実習で、とてもドキドキしました。まず、元栓をあけてお皿をあらいました。お皿をおとさないよう、しんちょうにあつかいました。きゅうすにちゃばを入れるのがとてもたのしかったです。やかんに水を入れてお湯をわかし、きゅうすにかきまぜながらゆっくりと入れるのがとてもたのしくて、みんなで順番にこうたいしながらしました。そして、やかんのお湯を湯飲みに入れて、その入れたものをまたもどすのが、なんでだろうと考えました。そして、かんせいしました。教頭先生をよんで、花をかざって、いっしょにお茶をのみました。とてもおいしかったです。

・わたしは、5月1日？にはじめての調理実習をしました。はじめての調理実習は緑茶をいれました。かんたんかと思えば、むずかしくて、ちょっどこまりました。緑茶はちょっとずついれるのがふつうだけど、まちがえて早くいれてしまって、味がしなかったです。先生たちも来てわいわい話して、味がしなかったけど、とてもおいしかったです。みんなは次々におかわりをしていくけど、わたしはあつくて、味がすこしなくて、「あっつ！！」と思いながらちょこちょこのんでいました。またいつか緑茶をのみたいです。次は、ゆっくりいれます。



◆3年『綿名人』

・わた名人さんの話を聞いて、今はへたでもそのうち上手になってくると言っていたけど、ほんとうに上手になれるか少しふあんです。でも、上手になるためにも、わたのことをもっと知って、わた名人さんのようにがんばりたいと思いました。どれもみんなむずかしそうだなと思いながら、じっさいに体けんしました。やってみると、自分が思っていたよりもできました。ぼうすい車は、糸が切れたらくっつけるのがむずかしかったし、たねとりきは回すのがかたかったので、たいへんでした。でも、楽しかったです。

・わた名人さんの話をきいてワクワクしました。名人さんにコツをおしえてもらったからできました。名人さんの話を聞いて楽しくできました。体けんしてみても、楽しくておもしろかったです。いろんなことがたくさんできてうれしかったです。とくにおもしろかったのはぼうすい車です。たねとりきも糸車も楽しかったです。

・わた名人さんの話を聞いて、いろいろなわたの色があっておもしろかったです。わたを糸にするきかいがいっぱいあってすごかったです。よしださんの話を聞いて、糸でマフラーを作っていたので、作りたいと思いました。体けんしてみても、楽しかったです。とくにたねとりひきが楽しかったです。たねとりひきのまわす場所がかたかったです。ぼうすい車が、どちらからまわすのかわからなかったです。けど、いっぱいやったらまわすほうこうがわかりました。



・わた名人さんの話を聞いて、ここの土地は、わたの土地と聞いて、とてもびっくりしました。しかも、たねをうえてから、わたしたちがつくったものを売れるなんて、とってもびっくりしました。大切にたくさんわたを作りたいと思いました。わたをそだてるのが、とっても楽しみです。体けんしてみても、わたをつくってから、たねとりきというきかいできれいにたねとわたに分けれるなんて、とてもびっくりしました。つぎに、ぼうすい車か糸車でわたから糸にするのがむずかしかったです。ずっと糸がとぎれてしまって、とってもくろうしていました。早く、うまくできるようにくふうしたいです。